

事業計画書

■当初 □最終

1 協議事項

事業種別 放課後等デイサービス 事業所名 遊 でい 開設(変更) 予定日 2022年11月1日

協議の種類 計画の概要 本計画書に記載が必要な項目 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

2 事業実施に係る動機

私たちは、重症心身障がい児・者の皆さまが、住み慣れたこの地域で共に心地よい安全・安心な暮らしができる場所が必要だと考えています。

3 提供サービス

種別 ① 放課後等デイサービス 割合 100% 提供日 月火水木金土日

4 施設の概要【平面図は裏面のとおり】

土地 所在地 広島県福山市御幸町中津原1397-9 用途区域 第二種住居地域 意見

5 主要取引先

上段:取引先 下段:所在地 割合 掛取引 回収・支払の条件 意見

6 従業員

職種 雇用形態 名前 年齢 月給 意見

7 借入金の状況

金融機関 理由 借入残高 年間返済額 意見

8 必要な資金と調達方法

必要な資金 金額 調達方法 金額 意見

9 事業の見通し

利用者見込 A 1月目 2月目 3月目 1年後 意見

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)＋全ての加算について記載すること

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先 下段:所在地 1月当たりの受注額 契約書の有無 回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品 1時間単価 計算式 1月当たりの生産額

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

様式第2号-1

受理 6月19日 関係者への意見聴取 市 建築指導課 消防局予防課 開発指導課

10 付近図

小学校区 御幸小学校	人口 12,424 人	事業所数 1 事業所	意見
	児童数 932 人	利用定員 5 人	
<p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先 <p>一次避難先 ・幸千中学校 (車で1分)</p> <p>二次避難先 ・紙ヒコーキ博物館 (車で3分)</p>			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">省略</div>			

12 事業計画

<p>定員:5名 営業日:月曜日～土曜日・祝日 定休日:日曜日・お盆・年末年始 営業時間:9:00～18:00 サービス提供時間: 平日 15:30～17:00 :土曜日・祝日 9:00～15:00 休日:日曜日・お盆・年末年始</p> <p>・療育は音楽療法・ミュージックケア・ドラムサークルムーブメント・感覚遊び・ふれあい遊び・入浴・ストレッチ・絵本の読み聞かせ・地域交流(事業所主催の季節行事の、餅つき・夏祭り・秋祭り・ハロウィン・クリスマス会)など、子どもたちの秘めた可能性を引き出し、楽しい生活を送ります。</p> <p>・相談支援事業所・支援学校・医療機関・保護者等と連携を密にとり、個別支援計画を作成し、利用者・保護者の希望に寄り添う支援を提供し続ける。</p> <p>・職員の就業環境については、研修・資格取得・ミーティング等に努めることができ、職員のスキルアップのしやすい環境で働けるようマネジメントをし、利用者の方への医療的ケア・日常生活支援・療育活動に繋げる。</p>	意見
	<p>○開設の動機や理念、利用者処遇の特徴などをより具体的に記載すること</p> <p>○地域交流について、行事の参加対象の範囲やどのような方法で地域との触れ合いを作っているのか記載すること</p>

13 利用者処遇

<p>重症心身障がい児の利用者を対象にした、新築の放課後等デイサービスの事業です。</p> <p>放課後等デイサービスを利用する利用者の成長と、身体機能の低下による重症化に対応していくために、新築の広々としたバリアフリーでのサービス提供を行い、土曜日・祝日も利用者の方々が安全に入浴できるような特殊浴槽を挿入し、安心して過ごせる空間をつくりました。また、重症心身障がい児・者のサービス提供の経験がある看護師兼務の管理者職員をはじめ、多職種による連携により、質の高いサービス提供を行うことができます。</p>	意見
	<p>○専門的な知識が求められるスタッフについて研修等を充実すること</p> <p>○感染症対策や入浴時等に気を付けていることを記載すること</p> <p>○保護者支援について、具体的な支援の在り方について記載すること</p>

11 平面図

	意見
--	----

14 防災計画

<p>第1 防災対策組織について 1 防災対策委員会 2 災害予防管理組織及び防災対策 3 災害対策本部</p> <p>第2 各災害時の対応</p> <p>第3 避難所運営支援</p> <p>第4 教育活動の再開</p> <p>第5 防災教育及び防災訓練</p> <p>第6 防災計画の園児及び保護者への周知徹底</p> <p>第7 地域社会との連携</p> <p>第8 防災計画の継続的改善</p> <p>＜防災計画に必要な書類＞① 防災対策委員会編成表 ② 災害予防管理組織表 ③ 災害対策本部編成表 ④ 自主点検チェック票 ⑤ 教職員の緊急時連絡体制 ⑥ 災害発生時における被害報告連絡体系図 ⑦ 各災害に対する対策検討シート ⑧ 備蓄物品管理表 ⑨ 地震・津波 編・避難経路及び避難場所等 ⑩ 火災 編・避難経路及び避難場所・防災機器・防火機器等配置図 等 ⑪ 風水害 編・避難経路及び避難場所等 ⑫ 避難所支援計画の作成 ⑬ 防災教育及び防災訓練についての年間計画作成 その他、防災計画に必要な書類を作成する</p>	意見
---	----

15 一日の流れ

平日	意見
1 4時 30分 ~ 1 5時 30分	迎え
1 5時 30分 ~ 1 7時 00分	医療的ケア・日常生活支援・療育活動
1 7時 00分 ~ 1 8時 00分	送り・帰社
時 分 ~ 時 分	
休日	
8時 30分 ~ 9時 00分	迎え
9時 00分 ~ 1 5時 00分	医療的ケア・日常生活支援・療育活動
1 5時 00分 ~ 1 6時 00分	送り・帰社

事業計画書

□当初 ■最終

法人名 株式会社遊の会
代表者職名前 代表取締役 青山 寿彦
担当者名 連絡先 直通

作成年月日 2022年10月04日

1 協議事項

事業種別 放課後等デイサービス
事業所名 遊 でい
開設(変更) 予定日 2022年11月1日

協議の種類
計画の概要
■新規事業所の開設
□共生型サービス
□新築予定
□賃借・自己所有
□多機能型サービス
□新築予定
□賃借・自己所有
□現在地
□定員の変更
□就労継続支援A型
□共同生活住居の追加
□上記以外
□大幅な事業内容の変更
□事業所の移転
□新築予定
□賃借・自己所有
□建物の構造・設備の変更
□施設整備を伴う
□施設整備を伴わない

2 事業実施に係る動機

私たちは、重症心身障がい児・者の皆さまが、住み慣れたこの地域で共に心地よい安全・安心な暮らしができる場所が必要だと考えています。安全に安心して豊かな生活を送るためには、一人ひとりの生き方を大切に、必要な時に必要な支援の提供が必要だと考えています。そのため、私たちが医療的ケア・日常生活支援・療育活動を、専門のスタッフの知識・技術・連携を大切に、「力強く生きるチカラを育てる療育」を行う必要があると考えています。

3 提供サービス

種別 ①放課後等デイサービス
割合 100%
提供日 月火水木金土日
理念 私たちは、一人ひとりの生き方を大切に必要な時に必要な支援を提供します。
私たちは、住み慣れたこの地域で安心して豊かな生活が送れるように支援します。
私たちは、共に心地よい安全・安心な暮らしができるよう支え合います。
目標 重症心身障がい児・者の皆さまが、心地よい安全・安心な暮らしができるよう共に支えあう

4 施設の概要【平面図は裏面のとおりに】

土地 所在地 広島県福山市御幸町中津原1397-9
用途区域 第二種住居地域
所有者 遊 でい
名称 遊 でい
用途 第二種社会福祉事業
構造 木造
階層 平屋建て
地上 1階
地下 0階
建築面積 81.12 m2
延面積 81.12 m2
事業の概要 ①種別 放課後等デイサービス
②種別
③種別
内容 申請種別 □新築 □増築 □用途変更 □移転 □その他
重症心身障がい児の利用者を対象にした放課後等デイサービスの新築事業です。

5 主要取引先

上段:取引先
下段:所在地
割合
掛取引
回収・支払の条件
主な修正点

6 従業員

職種 雇用形態 名前 年齢 月給 主な修正点
管理者/看護師
児童発達支援管理責任者
看護師
保育士
保育士
機能訓練担当職員
理学療法士
看護師
児童指導員
指導員
指導員
月給計 119万円
人件費 15日 末日支払 ボーナス 6月 1 2月

様式第2号-2

受付印

2022.10.24受付

7 借入金の状況

金融機関 理由 入残高 年間返済額 主な修正点

8 必要な資金と調達方法

必要な資金 金額 調達方法 金額 主な修正点
土地 0万円 補助金 0万円
設備 100万円 自己資金 1250万円
借入金 0万円
その他(備品) 150万円
運転資金 1000万円
合計 1250万円 合計 1250万円
特殊浴槽は賃貸設備に入居時点で設置されていますので特浴設置に必要な資金は必要ありません

9 事業の見通し

利用者見込 A
月平均利用額 ※1 (1人当たり)
収入
支出
収入 B
売上高 ※3
支出 C
最賃確保状況(A型)
(((B-C)/25)/8)/A

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠

基本報酬(サービス費)+全ての加算について記載すること
・平日利用定員が5人の場合:基本(1,756単位)+送迎加算(37単位×2)+看護職員加配加算I(400単位)=2,230
・休業日に利用定員が5人の場合:基本(2,038単位)+送迎加算(37単位×2)+看護職員加配加算I(400単位)=2,512

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先
下段:所在地
1月当たりの受注額
契約書の有無
回収・支払いの条件

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

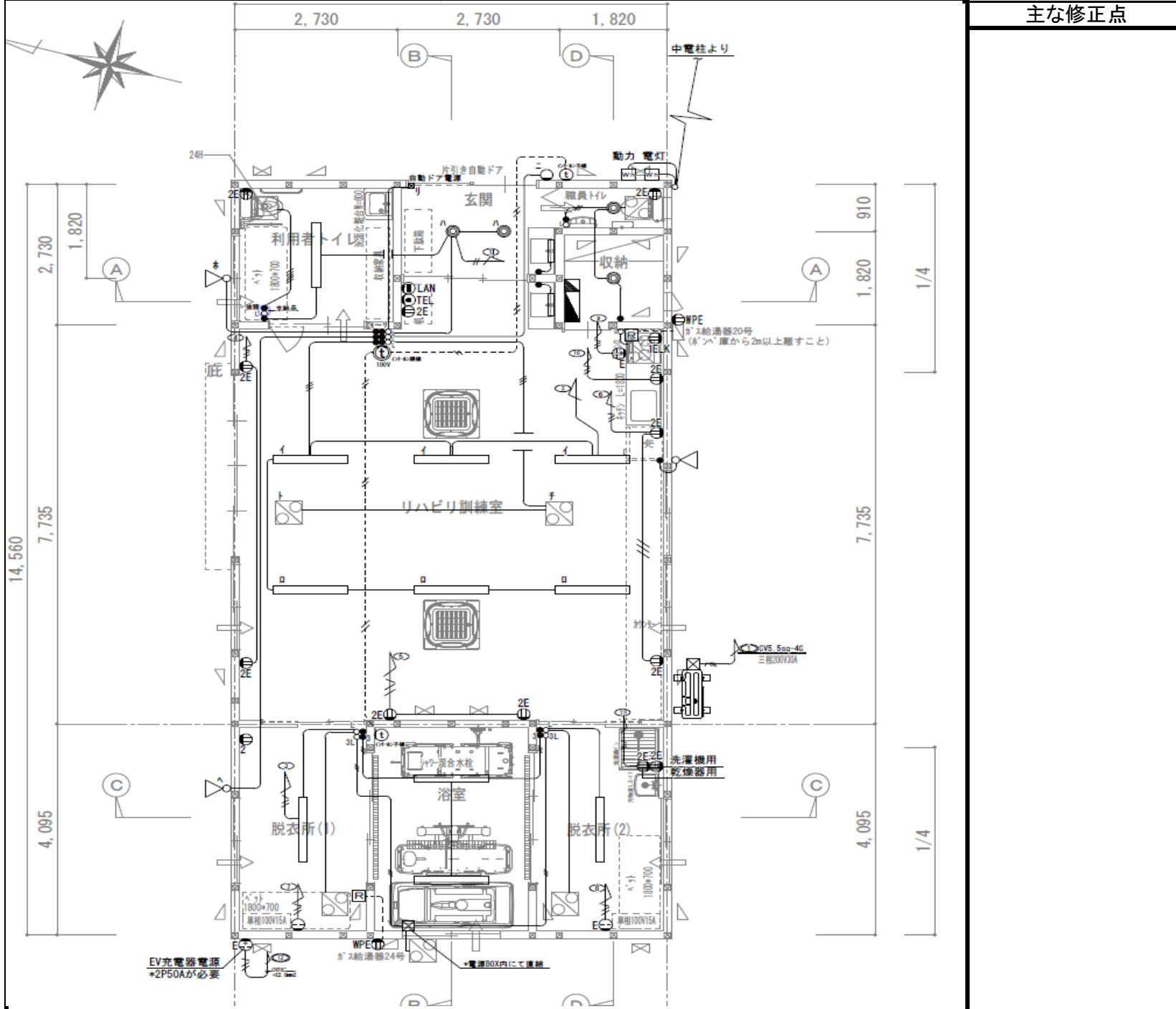
生産品 1時間単価 算式 1月当たりの生産額

※4 諸経費:消耗品、光熱水費、車両管理費、研修費、宣伝広告費、租税公課、社会保険料、レンタル料等

10 付近図

小学校区 御幸小学校 人口 12,424 人 児童数 932 人 事業所数 1 事業所 利用定員 5 人 凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先 一次避難先 ・幸千中学校 (車で1分) 二次避難先 ・紙ヒコーキ博物館 (車で3分)	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; width: 100px; margin: auto;"> 省略 </div>	主な修正点
---	---	-------

11 平面図



主な修正点

12 事業計画

理念: 私たちは、一人ひとりの生き方を大切に必要な時に必要な支援を提供します。 私たちは、住み慣れたこの地域で安心して豊かな生活が送れるように支援します。 私たちは、共に心地よい安全・安心な暮らしができるよう支え合います。 定員: 5名 営業日: 月曜日～土曜日・祝日 定休日: 日曜日・お盆・年末年始 営業時間: 9:00～19:00 サービス提供時間: 平日 15:30～17:00 土曜日・祝日 9:00～15:00 ・療育は音楽療法・ミュージックケア・ドラムサークルムーブメント・感覚遊び・ふれあい遊び・入浴・ストレッチ・絵本の読み聞かせ 参加対象: 重症心身障がい児の利用者・保護者・その他の子供たち 地域との触れ合い方: 福山市が開催するイベント行事の参加 ・事業所主催の事業所内での季節行事の、餅つき・夏祭り・秋祭り・ハロウィン・クリスマス会など、重症心身障がい児の利用者や子どもたちの秘めた可能性を引き出し、楽しい生活を送ります。 ・相談支援事業所・支援学校・医療機関・保護者等と連携を密にとり、個別支援計画を作成し、利用者・保護者の希望に寄り添う支援を提供し続けます。 ・職員の就業環境については、研修・資格取得・ミーティング等に努めることができ、職員のスキルアップのしやすい環境で働けるようにマネジメントをし、利用者の方への医療的ケア・日常生活支援・療育活動に繋がります。	主な修正点 次の通り追記しました。 ・理念の記載 ・地域交流について行事の参加対象の範囲の記載 ・地域との触れ合いかたの記載
--	--

13 利用者処遇

重症心身障がいの児・者の皆さまが安全に安心して過ごすことが出来る場所として、医療的ケア・日常生活支援・療育活動を専門のスタッフ(看護師・理学療法士・保育士・介護福祉士・栄養士)の知識・技術・連携を大切に「力強く生きるチカラを育てる療育」を行い重症心身障がい児の利用者を対象にした、新築の放課後等デイサービスの事業所です。 放課後等デイサービスを利用する利用者の成長と、身体機能の低下による重症化に対応していくために、新築の広々としたバリアフリーでのサービス提供を行い、土曜日・祝日も利用者の方々が無事に安全な入浴ができるよう、特殊浴槽を挿入しました。 入浴時、利用者様の身体に負担がかからないように電動ストレッチャーで専門スタッフと一緒に入浴し安心して過ごせる空間をつくりました。 感染症対策として、外部からの感染を防ぐために、玄関口に手洗い場と風除室。事業所の各スペースには除菌設備。外来用のトイレ。室内のすべての壁に、除菌効果のある壁紙。水回りは非接触型センサー式ノズルの完備しました。 また、重症心身障がい児・者のサービス提供の経験と日々の研修の経験がある看護師兼務の管理者職員をはじめ、多職種による連携により、質の高いサービス提供を行うことができます。 利用者の保護者の方が安心して毎日を過ごすことが出来るように、相談支援事業所・支援学校・医療機関・利用者が利用している事業所・保護者等と連携を密にとり、個別支援計画を作成し、利用者・保護者の希望に寄り添う支援を提供し続けます。	主な修正点 次の通り追記しました。 ・感染症対策や入浴時等に気を付けていることを記載 ・保護者支援についての記載
--	---

14 防災計画

第1 防災対策組織について 1 防災対策委員会 2 災害予防管理組織及び防災対策 3 災害対策本部 第2 各災害時の対応 第3 避難所運営支援 第4 教育活動の再開 第5 防災教育及び防災訓練 第6 防災計画の周知及び保護者への周知徹底 第7 地域社会との連携 第8 防災計画の継続的改善 < 防災計画に必要な書類 > ① 防災対策委員会編成表 ② 災害予防管理組織表 ③ 災害対策本部編成表 ④ 自主点検検査チェック票 ⑤ 教職員の緊急時連絡体制 ⑥ 災害発生時における被害報告連絡体系図 ⑦ 各災害に対する対策検討シート ⑧ 備蓄物品管理表 ⑨ 地震・津波 編・避難経路及び避難場所等 ⑩ 火災 編・避難経路及び避難場所・防災機器・防火機器等配置図 等 ⑪ 風水害 編・避難経路及び避難場所等 ⑫ 避難所支援計画の作成 ⑬ 防災教育及び防災訓練についての年間計画作成 その他、防災計画に必要な書類を作成する	主な修正点
--	-------

15 一日の流れ

平日 14時30分～15時30分 迎え 15時30分～17時00分 医療的ケア・日常生活支援・療育活動 17時00分～18時00分 送り・帰社 休日 8時30分～9時00分 迎え 9時00分～15時00分 医療的ケア・日常生活支援・療育活動 15時00分～16時00分 送り・帰社	主な修正点
---	-------